

カツオ 大西洋

Skipjack Katsuwonus pelamis



管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

生物学的特性

- 最大体長・体重：尾又長 100 cm・15 kg
- 寿命：6 歳以上
- 性成熟年齢：満 1 歳ですべて成熟。
- 産卵期・産卵場：周年・表面水温 24℃以上の海域
- 索餌期・索餌場：熱帯～温帯域
- 食性：魚類、甲殻類、頭足類
- 捕食者：マグロ・カジキ類、サメ類、海鳥類等

利用・用途

缶詰等の加工品

漁業の特徴

主要な漁業は、東部大西洋でのスペインのまき網、ガーナ、スペイン等の竿釣り、西部大西洋でのブラジル等の竿釣り、ベネズエラによるまき網である。ひき縄やはえ縄でもわずかに漁獲される。東部大西洋では、近年パナマの漁獲量が増加し、ポルトガルよりも多くなった。主な漁場は、アフリカ西岸ギニア湾の赤道を中心とした熱帯域～北西岸モーリタニア沖のまき網漁場と、ブラジル南東岸沖の竿釣り漁場である。まき網は、1991 年から人工浮き漁礁 (FAD) 操業が本格化し、漁獲量が増大した。

漁獲の動向

年間漁獲量は 1960 年代には 4 千～5 万トン、1970 年代には 5 万～12 万トン、1980 年代には 11 万～16 万トンで推移した。まき網の FAD 操業開始により、1991 年 22 万トン、1993 年の 21 万トンがピークで、1995 年以降は 12 万～19 万トンで推移している。2011 年以降、漁獲量は 20 万トンを超えるようになり、2020 年には約 23 万トンを記録した。日本の竿釣りは、1980 年代前半まで東部大西洋で操業し、1976～1981 年には 1 万～2 万トンを漁獲したが、現在は行われていない。

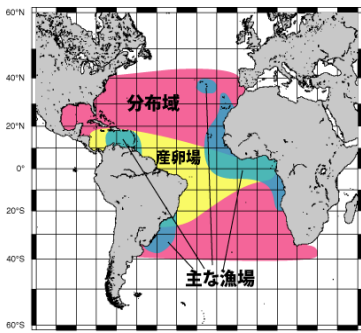
資源状態

2014 年 6 月に ICCAT の科学委員会 (SCRS) において資源評価が実施された。大西洋における本種の生物・漁業学的特徴を考慮して東部・西部大西洋の 2 海域に区分して資源評価を実施した。東部大西洋では 2 種類のプロダクションモデル (BSP, ASPIC) 及びその他の 2 種類のモデル (漁獲量のみを用いる資源評価モデル、Gedamke and Hoenig model) を用いて解析を試みた。これらのモデルからは信頼性のある最大持続生産量 (MSY) が得られなかったが、乱獲状態に陥っていることを示す指標も認められていない。西部大西洋では MSY は 30,000～32,000 トンと推定され、資源状態は MSY からの相対値で示された。B₂₀₁₃ / B_{MSY} はおよそ 1.3、F₂₀₁₃ / F_{MSY} はおよそ 0.7 である可能性から、西部大西洋では乱獲状態には陥っていないと推定された。以上から、資源は中位で横ばいと判断された。

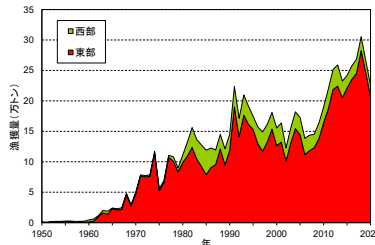
管理方策

2014 年 11 月の ICCAT 年次会合において、データ不足に起因する資源評価の不確実性が SCRS から指摘されていることを踏まえ、既存の熱帯まぐろ保存管理措置に含める形で、管理方策が初めて設定されることとなった。それにより、カツオを漁獲する漁船の ICCAT への登録、FAD 操業の禁漁区・禁漁期等が設定されることとなった。FAD 操業の禁漁区・禁漁期は新たなものが 2015 年に決定、2016 年に発行され、2017 年より適用され 1～2 月においてアフリカ沿岸域～西経 20 度、南緯 4 度～北緯 5 度の範囲となっている。2019 年の ICCAT 年次会合において、熱帯まぐろ保存管理措置が改定され、2020 年には 1～2 月の 2 ヶ月間、2021 年には 1～3 月の 3 ヶ月間、大西洋全体において FAD 操業の禁止を決定した。FAD 数は、1 隻当たり一度に 350 基 (2020 年) 及び 300 基 (2021 年) までとなった。2021 年の ICCAT 年次会合において、熱帯まぐろ保存管理措置が一部改定され、2022 年においては 1 月 1 日～3 月 13 日の 72 日間の FAD 禁漁を決定した。

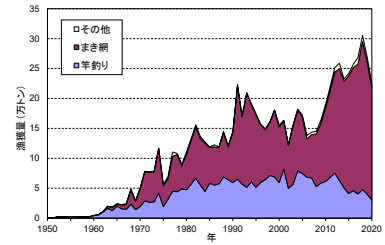
カツオ（大西洋）の資源の現況（要約表）	
資源水準	中位（西部）
資源動向	横ばい（西部）
世界の漁獲量（最近5年間）	22.5万～30.7万トン 最近（2020）年：22.5万トン 平均：26.5万トン（2016～2020年）
我が国の漁獲量（最近5年間）	1.1～4.8トン 最近（2020）年：1.9トン 平均：2.3トン（2016～2020年）
管理目標	MSY（3.0万-3.2万トン（西部））
資源評価の方法	プロダクションモデル（BSP、ASPIC）等
資源の状態	悪化の兆候は認められない
管理措置	漁船登録 FAD 操業の禁漁区・禁漁期、FAD 数制限
最新の資源評価年	2014年
次回の資源評価年	2022年



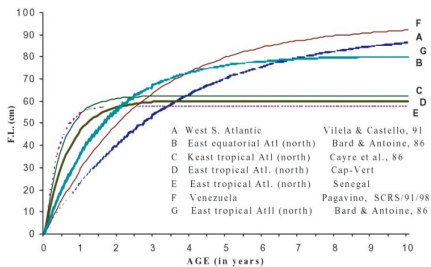
大西洋のカツオの分布域、産卵場及び主な漁場



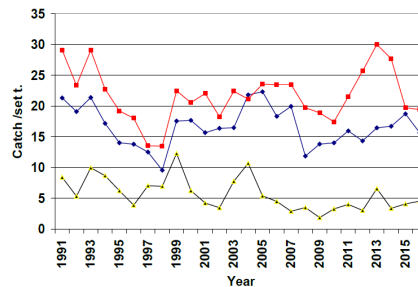
東部及び西部大西洋におけるカツオ漁獲量の推移（1950～2020年）



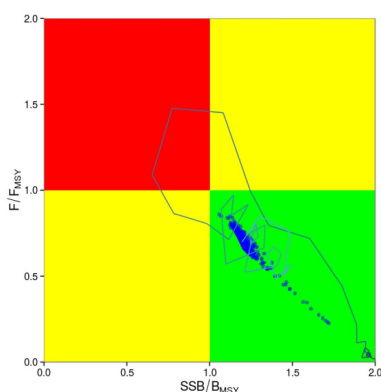
大西洋におけるカツオの漁法別漁獲量の推移（1950～2020年）



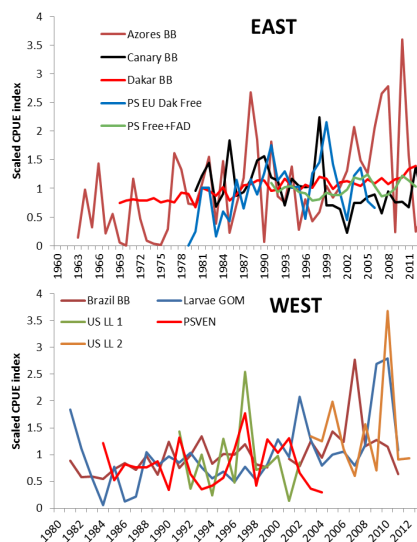
大西洋のカツオの成長曲線
A～Gの曲線は各海域で報告されたカツオの成長を示す。



東部大西洋におけるまき網によるカツオ漁獲量（1操業あたり漁獲量）の推移（1991～2016年）
France FADs：フランスのまき網船・FAD操業、Spain FADs：スペイン・その他のまき網によるFAD操業、Free schools all PS：まき網による素群れ操業。



Schaefer 型の ASPIC から推定された西部大西洋のカツオにおける B/B_{MSY} と F/F_{MSY} の歴史的推移（1950～2013年）
青丸は最終年の不確実性を表す。



東部大西洋（1960～2013年、上）及び西部大西洋（1980～2013年、下）におけるカツオ CPUE の経年変化
Azores BB：アゾレス諸島の竿釣り、Brazil BB：ブラジルの竿釣り、Canary BB：カナリア諸島の竿釣り、Dakar BB：セネガルの竿釣り、Larvae GOM：メキシコ湾における仔魚採集データ、PS EU Dak Free：ダカールに水揚げされたヨーロッパまき網船の素群れ操業、PS Free+FAD：まき網（素群れ+FAD操業）、PSVEN：ベネズエラのまき網、USLL：米国のはえ縄。